

第1回 加賀市緑の基本計画策定委員会 議事録

1. 日 時 令和2年3月17日（水）12：30～14：30

2. 場 所 加賀市市民会館 第2会議室

3. 出席者 委員 6名

（委員長） 鏑 隆 弘

（委員） 中西 佳代子

三島 由樹

田畑 智日

辻 寛子

宮永 久美子

オブザーバー 1名

田村 功司（代理 竹内 憲一）

事務局 7名

加賀市建設部都市計画課

4. 次 第

1) 開 会

2) 市長あいさつ

3) 議事

①緑の基本計画について

②策定体制とスケジュール

③計画の構成

④本市の緑の現況と課題

4) その他 今後の予定

5) 閉 会

5. 傍聴者 なし

6. 議事内容

◆事務局

本日は、ご多用のところお集まりいただき誠にありがとうございます。

只今より、第1回加賀市緑の基本計画策定委員会を開会いたします。

委員総数6名全員にご出席をいただき、「加賀市緑の基本計画策定委員会設置要領」第5条第2項の委員会成立要件を満たしていることをご報告いたします。

開会にあたりまして、加賀市長 宮元陸がご挨拶申し上げます。

◆宮元市長

皆様こんにちは。公私共に忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今回は、緑の基本計画策定委員会の初会合です。新型コロナウイルスが蔓延しており、世の中は自粛ムードで閉塞感が漂っています。我々としては、北陸新幹線の2023年開業を目標にして、既に加賀市ガーデンシティ構想を進めています。それも踏まえて、都市緑地法に基づいた緑の基本計画を策定させていただいて、より多くの方々に快適な空間を提供できるように進めていきたいと思っております。

今日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、貴重な時間を作っていただきましたことを改めて感謝とお礼申し上げます。簡単ですが私からのご挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

◆事務局

本日は、お手元の次第に基づき、進行してまいりますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。ここで、資料の確認をいたします。

まず、本日お配りしている「会議次第」、「(資料1) 加賀市緑の基本計画の素案」、「(資料2) 旧加賀市の緑の基本計画(実施計画)のフォローアップ」、「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」、「加賀市立地適正化計画のパンフレット」、次に事前に郵送しました「第1回 資料」、「委員会要領」、「委員名簿」です。不足の方はお申し出ください。

それでは、今回が初めての委員会ですので、議事に入る前に、委員のご紹介をさせていただきます。まず、本委員会の委員長をお引き受けいただく金沢美術工芸大学教授の鏑隆弘様です。次に、株式会社ランドスケープアンドパートナーシップ代表取締役の中西佳代子様です。次に、株式会社folk代表取締役の三島由樹様です。次に、かが緑化研究会会長の田畑智日様です。次に、いしかわ緑と花の会副会長の辻寛子様です。次に、加賀市もてなしガーデナー動橋町女性会代表の宮永久美子様です。次に、オブザーバーをご紹介します。石川県土木部公園緑地課課長の田村功司様。本日は代理で公園緑地課参事の竹内憲一様にご出席いただいております。

なお、国土交通省金沢河川国道事務所調査第二課課長の川原克美様は本日欠席のご連絡をいただいております。以上の方々です。よろしく願いいたします。

続きまして、委員会設置要領第4条第2項の規定により、委員長は、あらかじめ委員長の代理を指名することとなっておりますので、鏑委員長、代理の指名をお願いします。

◆鏑委員長

中西委員にお願いしたいと思っております。

◆事務局

中西委員よろしいでしょうか。

◆中西委員

わかりました。

◆事務局

それでは、中西委員に委員長代理をお願いいたします。

次に、議事に入りたいと思います。これよりの議事進行を鏝委員長をお願いします。

議事①緑の基本計画について

◆鏝委員長

鏝です。よろしくお願いいたします。

緑は、私が大学に入った 80 年代から大事だと言われ続けていますが、まだまだ緑の大事さが認識されていません。これは私たちの力不足だと思います。加賀市の緑の基本計画は、市民の皆さんに心地よい緑の環境を提供するためにも良いものを作っていくしたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。

それでは議案 1 の緑の基本計画について事務局より説明をお願いいたします。

◆事務局

(説明)

◆鏝委員長

ただいまの議案 1 の緑の基本計画について、ご意見、ご質問はございませんか。

◆田畑委員

緑の基本計画の計画策定の趣旨にある都市緑地の荒廃や公園などの都市インフラの老朽化は、加賀市として見つめなおしていかなければなりません。積極的に再編整備を推し進めてほしいです。老朽化の激しい公園を新たにリニューアルしたり、住民との対話で必要ないと判断された公園を廃止したりするなど、お金をかけるところにはかけて、必要ないところにはかけないという、メリハリをつけるべきです。加賀市の財政も苦しい中で、こういった考えにシフトすべきだと思います。また、緑は二酸化炭素の吸収ができるので、世界的に地球温暖化が進む中、緑と密接に関わるということを推し進めてほしいです。

◆事務局

加賀市内の公園や緑地は、量はあるのですが、有効に活用されていないところがあります。平成 11 年 11 月に策定した旧加賀市の緑の基本計画の社会背景は、少子高齢化の到来などがありましたが、まだ景気は上向いていくだろうという希望を持った時代でした。しかし、現在は、少子高齢化が急速に進んでいます。田畑委員がおっしゃったとおり、必要な公園だけ残して、公園の役割分担を行うな

どし、これまで以上に有効に活用されるよう計画を定めたいと思います。緑による二酸化炭素の削減に関しても基本的な視点とした上で、計画に反映していきたいと思います。

◆鏝委員長

都市緑地の荒廃とはこういった捉え方をすればよいですか。

◆事務局

都市緑地にもいろいろありますが、例えば河川の法面の緑地などに関しては、地元の町内会や有志の方々に管理してもらっています。しかし、高齢化の進展や町の行事などに積極的に参加しないという流れもあって、管理しきれていない現状があります。そうした現状を荒廃ととらえていただきたいと思います。

◆宮永委員

加賀市の柴山潟や橋立の公園にはウォーキングコースなどがありますが、小松市の木場潟とは違い、行きたいという気持ちにはなれず、癒される空間ではありません。こういったことが荒廃というのではないのでしょうか。私は動橋駅前では花を植える活動しており、初めのスタートは良かったのですが、現在は後継ぎがいなくなり、一人で活動しています。どうして若い人が参加しないか、それを考えずに我々だけで話しても意味がないと思います。若い人の気持ちを考えて、なぜそうなるのかをリサーチしながら、加賀市はいいところだと皆が思えるような計画を進めてほしいです。

◆鏝委員長

若い方の意見を聞く方法を検討し、計画に入れていただきたいと思います。

◆田畑委員

宮永委員の意見でもあったとおり、行きたい気持ちになれるところは清潔感があると思います。古いところで老朽化はしていても、綺麗で清潔であると気持ちがよいです。最低限手の届くところは清掃するなどといった積み重ねが人を集めることに繋がるのではないかと思います。

◆鏝委員長

資料の2ページの(7)の水と緑の役割について、水と緑にこだわって書かれており、まとめ方については問題ないと思いますが、ぜひ生態系サービスという言葉も入れて、わかりやすくまとめていただきたいと思います。

◆事務局

生態系は水と緑の役割でも要となる部分ですので、一つ項目を増やすか、もしくは、今ある項目の中に含めるかを検討したいと思います。

議事②策定体制とスケジュール

◆鏝委員長

それでは議事2の策定体制とスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆鏝委員長

策定体制とスケジュールについて何かご意見ご質問ありませんか。

◆三島委員

スケジュールについて、計画策定までに3、6、9月と計3回委員会が開催される予定ですが、各回の内容を教えてください。

◆事務局

本日の委員会では、現況の把握と課題の抽出を行います。6月の委員会では、できれば計画全体の素案を示し、ご意見をいただいたものをパブリックコメントしたいと考えています。そして、9月の委員会では、パブリックコメントを反映させたものを審議していただきたいと考えています。現在は、計3回を想定していますが、状況により必要であれば4回目の委員会を開催することもあるかもしれません。

◆鏝委員長

地元説明会は考えているのですか。

◆事務局

現時点で地元説明会は考えていません。

◆中西委員

次回の委員会の前後に、現地を回って加賀市の現状を見る時間を作っていただきたい。委員同士で現地を回ると、いろいろな意見や課題が出てくると思います。

◆事務局

現地視察は、委員の皆様に加賀市が課題として抱えている部分の共通認識を持っていただくためにも必要だと思うので、前向きに実施を検討したいと思います。

◆田畑委員

パブリックコメントはどのように行う予定ですか。

◆事務局

広報やHPなどでパブリックコメントの情報発信を行い、2週間以上の意見募集期間で各地区会館や各出張所に閲覧資料を設置し、意見書の提出を受け付けます。

◆鏝委員長

パブリックコメントは実施されていることになかなか気づかれず、あまり意見も出てこないのも、我々委員から知り合いなどに声掛けをして周知することも大事です。

議事③計画の構成

◆鏝委員長

それでは議事3の計画の構成について事務局より説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆鏝委員長

計画の構成について、ご意見ご質問ありますでしょうか。

◆宮永委員

観光客には、駅を降りた時の印象が重要になります。例えば、兵庫県の芦屋市や岐阜県の郡上八幡では、駅を降りると、花や木がおしゃれに配置してあり、「もっとここでお茶したい」、「1つ電車を遅らせたい」と思いました。このように、今後整備する公園は、訪れたい、滞在したいものを整備してほしいと思います。

◆辻委員

単にベンチを置いて木を植えて終わりという公園ではお金の無駄遣いだと思うので、新たに整備するのであれば、訪れたい魅力ある公園にしてほしい。

◆鏝委員長

計画策定には、個別の公園整備のような細かな視点とマスタープランとしての広い視点の両方が必要なので、うまくまとめてほしい。

◆中西委員

加賀市では、どのような地域戦略・ビジョンがあるのか教えてほしい。それを見ながら本計画をどのように位置づけていくか考えていきたいと思っています。

◆事務局

緑に関係する地域戦略を記載したものとしては「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」があります。これは、緑で加賀市を訪れる人をもてなそうというものです。しかし、すべてを網羅しているわけではないので不足の部分があれば、緑の基本計画に反映したいと思います。

◆中西委員

「加賀市景観計画」と「加賀市観光戦略プラン」の緑の部分合わせたものが「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」になるのでしょうか。

◆事務局

「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」は、緑の景観で訪れる人をおもてなしすることに特化したものとなります。加賀市の玄関口である加賀温泉駅前や山代・山中・片山津の3温泉、旧城下町や旧宿場町の文化が残る大聖寺や動橋、北前船の文化が残る橋立など、地域ごとの特色を生かす構想となっています。

◆中西委員

緑の基本計画は、「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」を掘り下げるものではなく、緑の保全や防災、生態系拠点としての視点を加えて作成するというのでしょうか。

◆事務局

事務局としては、「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」の範囲も網羅する計画というイメージですが、委員会の中でまとめ方についても検討したいと思います。

◆三島委員

市民アンケートは行うのですか。

◆事務局

アンケート調査は、平成29年の都市計画マスタープランを策定する際に行ったものを活用したいと考えております。

◆三島委員

課題として、具体的な場所を言及しているが、この委員会で個別に検討するのですか。

◆事務局

参考として記載したものなので、個別に掘り下げるつもりはありません。

◆鏝委員長

緑のネットワークの拠点となりうるものがここに挙げられていると思いました。また、「加賀市ガーデンシティ構想推進プラン」では、管理にお金のかかる部分が多分に含まれていると思うので、緑の基本計画を策定する際には精査したいと思います。

◆宮永委員

コンセプトがしっかりとまとまっている計画ほどわかりやすいと思います。そこに住んでいる人たちの思いをどうやって吸い上げ、まとめるのが重要です。過去に動橋であったイベントでは、地域が一丸となって成功しました。このように住民のモチベーションが上がるように仕向けていくことが大事だと思います。市民が一丸となれるようなコンセプトがあればよいと思います。

◆鏝委員長

第5章の推進体制で市民への意識付けをどのように行うのか、もれなく記載できればと思います。

議事④本市の緑の現況と課題

◆鏝委員長

それでは、議事4の本市の緑の現況と課題について事務局より説明をお願いします。

◆事務局

(説明)

◆鏝委員長

質疑の前に、本日配られた資料について事務局から説明をお願いします。

◆事務局

本日お配りした資料1を抜粋したものが、本日の第1回資料であります。参考として、現在、このような形で作成しているという素案を示していますが、抜け落ちている部分がありますので、次回までに精度を高めておきます。

資料2は、平成11年に作成した旧加賀市の「緑の基本計画」の実施計画をまとめたものになります。策定から20年ほど経っている中で実施した取り組みの内容や、実施の主体、継続の有無について、まとめています。

こちらの資料につきましては、お持ち帰りいただき、中身を把握していただいて、次回の委員会でご意見をいただく際の参考資料としていただければと考えております。

◆鏝委員長

ありがとうございました。資料2をサッと見て、ほとんどが実施されているのですが、いくつか実施されていないものも含まれており、理由についても記載されているので、そういったことも踏まえて次回の参考にしたいと思います。

それでは、緑の現況と課題について、ご意見ご質問をどうぞ。

◆辻委員

少し話がとびますが、先ほど宮永委員がおっしゃった木場潟と柴山潟ですが、木場潟は県の管轄、柴山潟は市の管轄でよろしいでしょうか。

◆事務局

柴山潟そのものの管理は県の管轄で、柴山潟を周遊する遊歩道などは加賀市の管轄になります。

◆辻委員

木場潟は多くの人利用しているのに、柴山潟は人が少ないという違いは、木場潟にはサッカー場やゲートボール場があり、人が集まるシステムになっているからだと思います。

個人的には木場潟よりも柴山潟の方が景観的に優れていると思っています。太陽の沈む海が見え、白山も眺望でき、桜の時期には花見も楽しめる最高のロケーションだと思っています。

この計画では、もっと人が集まれるようなものをぜひ取り入れていただければと思います。例えば、源平橋から佳水郷までの農協付近には広大な土地があるので、ああいう場所に人が集える集約型の施設を県道沿いにつくると、木場潟よりも、人が集まると思います。小手先だけの小さな公園を整備するよりも、柴山潟に特化したものを整備すれば、よりアピールできるのではないかと思います。そうすれば、片山津温泉へ訪れるお客様の増加が見込まれるのかもしれませんが。片山津温泉の温泉から見る景観は最高です。夕日が見えて、朝日を望める立地はそうそうないものですから、先ほど述べた広大な土地を買収するなりして、そこを一つの公園に整備すればほかに何もいらんと思います。

木場潟も何もないところから、年間74万人を集客するようになったのだから、その半分程度の35万人のお客様が加賀温泉郷に宿泊していただけるように、委員の方々のご意見を基に、計画の策定をお願いしたいと思います。この片山津温泉から見る景観をご覧ください。

◆鏝委員長

まだわたしは、宿泊したことがないので泊ってみたいと思います。

◆宮永委員

柴山潟は遊歩道が整備されたことでだんだんと良くなっていると思います。問題は、トイレや休憩所がないことです。木場潟には何箇所かトイレと休憩所が設置されているのですが、柴山潟には設置されていないので、近隣の旅館で借りるといった現況です。これでは景色がよくても、人は来てくれません。

◆鏝委員長

現況のまとめの中で拠点となる場所はどこに示されていますか。

また、柴山潟の位置付けがあっさりしています。資料6ページの(4)の「水と緑の特性」の中に含まれるのではないかと思います。柴山潟は資源としての必要性があるということに記載してほしいです。

◆宮永委員

加賀市を訪れた人に聞くと、山中温泉にはゆげ街道や鶴仙溪などがあり、片山津温泉や山代温泉と比べると、良かったと言います。なぜそうなるのか検討していただければと思います。

◆鏝委員長

水のネットワークの歴史的事項として、白山から北潟湖までが年貢を納める際のルートになっていたということがあります。このような歴史的な部分についても記載していただければと思います。

◆事務局

拠点となるそれぞれの公園緑地の位置については、資料の7ページにまとめている市内の公園緑地をプロットした資料を追加したいと思います。

そして、水のネットワークについても歴史的な事項をまとめ記載したいと思います。

◆中西委員

資料の12ページの③地区の公園に対する課題における、「子どもが遊んだり、地区のイベント等ができたりする身近な公園」と「休日に家族で過ごせる、遊具やスポーツ施設等が充実した公園」、「高齢者のレクリエーション活動ができる公園」の違いを教えてください。

◆事務局

「子どもが遊んだり、地区のイベント等ができたりする身近な公園」は、地元の神社のような、子どもが気軽に集まって遊べる規模が小さな公園。「休日に家族で過ごせる、遊具やスポーツ施設等が充実した公園」は、親と子どもと一緒に遊べる公園。そして、「高齢者のレクリエーション活動ができる公園」は、グランドゴルフやパークゴルフができる公園を想定しています。

◆中西委員

このアンケートの選択肢には様々な要素が含まれているので、地域の方が何を望んでいるのかが掴みにくいと思います。今後、アンケートを行う場合は、なるべく単純な選択肢とした方がよいと思います。

◆事務局

今回の計画策定でアンケートを行う予定はありませんが、計画の見直しの際には、いただいたご意見に留意してアンケートを行いたいと思います。

◆鏝委員長

公園の特性や、どの地区にどんな公園が多いのかなど、課題を整理するための現況として、把握した方がよいと思います。また、資料の7ページの表にゴルフ場の面積の記載がありますが、将来的にゴルフ場がなくなった際には、どのように取り扱うのでしょうか。

◆事務局

無視できる規模ではないと思いますが、現時点ではどのように取り扱うのか考えていません。

◆鏝委員長

事業をやめる可能性もあるので、課題として入れておき、活用についても検討していただきたい。

◆三島委員

事務局から提示された資料をチェックする場のようになっていますが、新しいことを提案してもよいのでしょうか。例えば、最後には計画の冊子が出来上がると思いますが、こういった冊子は、一般の市民には読みにくいと思うので、冊子を作るのをやめましょうという提案はしてもよいのでしょうか。

◆事務局

今回は現況と課題の抽出のため、なかなか提案は出てこないかと思いますが、今後の施策の方針などの検討では、多くの提案や意見をいただきたいと思います。

冊子は確かに読みづらいですが、計画としてしっかりとまとめておくためには必要であると思います。市民に周知するためのものとしては、冊子とは別に簡単にまとめたパンフレットを用意するなどの工夫をしたいと思います。

◆鏝委員長

竹内オブザーバー、何かお気づきの点がございましたらお願いします。

◆竹内オブザーバー

策定にあたっては、ガイドラインがあるので、それに沿って内容を網羅していただきたいです。また、緑の基本計画の見直しを先行して行っている金沢市や小松市の計画も参考に進めてほしいと思います。それと、水と緑という視点で記載していますが、水との関連が薄いように感じます。ネットワークで繋ぐ部分、結節点などをもう少し検討していただきたいです。

これから人口が減っていく中で、緑の量を増やすのではなく、いかに質を高めていくかが重要だと思います。機能再編などの視点も考えられるのではないかと思います。

◆鏝委員長

多様な視点で検討していただきたいと思います。

コンセプトは市民にわかりやすいよう端的で、目に残る、耳に残るようなものになるようお願いしたいと思います。また、今回は、資料をもっと早くに送付してもらえると、事前に資料を確認する時間ができ、委員会では意見交換をする時間を確保できると思います。

それでは、進行を事務局にお返しします。

◆事務局

議事のスケジュールでも説明しましたが、次回は6月頃を予定しています。改めてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

これもちました、第1回加賀市緑の基本計画策定委員会を閉会いたします。皆様、長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。